

(平成25年3月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>3月期の野菜の入荷状況は、葉菜類、果菜類の多くの品目で、気温の上昇により作柄順調であったことから、入荷増となった。根菜類では、長ダイコンが生産面積の拡大により入荷増、西洋ニンジンでは、品質の低下及び低温による入荷の遅れから入荷減、土物類では、バレイショが品質の低下がみられたことから入荷減、タマネギでは、天候に恵まれ作柄良好であったことから入荷増となった。野菜全体の入荷量は前年同期を8%上回った。</p> <p>価格は、根菜類では、品質の低下がみられたことから単価安、葉菜類、果菜類の多くの品目で、入荷増により単価安、土物類では、バレイショが品質の低下により単価安、タマネギで入荷増により単価安となった。野菜全体では前年同期を27%下回った。</p> <p>品目別には、長ダイコン、ハクサイ、ホウレンソウ、レタス、キュウリ、ナス、ピーマン、タマネギが入荷増の単価安、キャベツ、トマトが入荷前年並みの単価安、西洋ニンジン、バレイショが入荷減の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が13%増加し、価格は38%安となった。 葉菜類は、入荷が10%増加し、価格は33%安となった。 果菜類は、入荷が15%増加し、価格は24%安となった。 土物類は、入荷が前年並み、価格は24%安となった。</p>
果 実；	<p>3月期の果実の入荷状況は、柑橘類では、多くの品目で品質の低下がみられたことから入荷減、リンゴ類では、産地での流通在庫が多い状況から入荷増、イチゴ類では、作柄順調により入荷前年並み、メロン類では、加温用重油の高騰による作付面積の減少から入荷減となった。果実全体の入荷量は前年同期を7%上回った。</p> <p>価格は、柑橘類では、多くの品目で品質の低下により単価安、リンゴ類では、ふじリンゴで入荷増により単価安、イチゴ類では多品目との競合により単価安、メロン類では需要の低迷により単価安となった。果実全体では、前年同期を16%下回った。</p> <p>品目別には、イヨカン、ふじリンゴが入荷増の単価安、ミカン、イチゴが入荷前年並みの単価安、不知火が入荷減の単価前年並み、八朔、アールスメロンが入荷減の単価安となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が6%減少し、価格は17%安となった。 リンゴ類は、入荷が38%増加し、価格は34%安となった。 イチゴ類は、入荷が前年並み、価格は9%安となった。 メロン類は、入荷が6%減少し、価格は11%安となった</p>

主要品目 (野菜)	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	<p>長崎県を中心に、徳島県、鹿児島県、滋賀県、神奈川県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、生産面積を拡大したことから、入荷量は、前年同期を31%上回った。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたこと、また、需要の低迷により、前年同期を50%下回った。</p>
西洋ニンジン	<p>鹿児島県を中心に、愛知県、徳島県、長崎県、中国からの入荷。</p> <p>主力の鹿児島県産で、高温により品質の低下がみられたこと、また、徳島県産で低温により入荷が遅れたことから、全体の入荷量は、前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を14%下回った。</p>
【葉菜類】 ハクサイ	<p>長崎県を中心に、兵庫県、鹿児島県、滋賀県、岡山県からの入荷。</p> <p>各産地とも、気温の上昇により春物の出荷量が増えたこと、また、秋冬物の残量が多かったことから、入荷量は、前年同期を12%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を55%下回った。</p>
キャベツ	<p>愛知県を中心に、兵庫県、鹿児島県、大阪府、滋賀県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、気温の上昇により春物を中心に出荷量が増加したもの、滋賀県産で高温による品質低下がみられたことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を26%下回った。</p>
ホウレンソウ	<p>京都府を中心に、徳島県、福岡県、滋賀県、茨城県からの入荷。</p> <p>主力の京都府産で、前月の生育遅れ分の入荷が本月にずれ込んだこと、また、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を13%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、また、品質の低下がみられたことから、前年同期を23%下回った。</p>
レタス	<p>兵庫県を中心に、徳島県、長崎県、岡山県、茨城県からの入荷。</p> <p>各産地とも、気温の上昇により出荷量が増えたこと、また、前年の入荷が少なかったことから、入荷量は、前年同期を44%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、また、前年が単価高であったことから、前年同期を47%下回った。</p>

【果菜類】	
キュウリ	<p>宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、徳島県、佐賀県からの入荷。各産地とも、好天に恵まれ作柄良好であったことから、入荷量は、前年同期を30%上回った。価格は、入荷増であったこと、また、需要の低迷により、前年同期を45%下回った。</p>
ナス	<p>高知県を中心に、岡山県からの入荷。各産地とも、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を22%上回った。価格は、入荷増により、前年同期を22%下回った。</p>
トマト	<p>熊本県を中心に、福岡県、三重県、佐賀県、岐阜県からの入荷。主力の熊本県産で小玉傾向であったものの、多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を16%下回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県、茨城県からの入荷。各産地とも、好天に恵まれ作柄良好であったことから、入荷量は、前年同期を33%上回った。価格は、入荷増により、前年同期を31%下回った。</p>
【土物類】	
バレイショ (メーク含む)	<p>北海道を中心に、鹿児島県、長崎県からの入荷。主力の北海道産で、品質の低下がみられたことから全体の入荷量は、前年同期を9%下回った。価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を44%下回った。</p>
タマネギ	<p>北海道を中心に、長崎県、静岡県、兵庫県、中国からの入荷。多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を5%上回った。価格は、入荷増により、前年同期を4%下回った。</p>
【その他野菜】	
生シイタケ	<p>北海道を中心に、徳島県、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。主力の広島県産で、入荷が減少しているものの、北海道産で入荷が増加したことから、全体の入荷量は、前年同期を20%上回った。価格は、入荷増により、前年同期を16%下回った。</p>

主要品目 (果実)	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、福岡県、徳島県、香川県からの入荷。</p> <p>主力の和歌山県産で、高温により品質の低下がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を25%下回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県を中心に、和歌山県、広島県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、小玉傾向であったものの、前年入荷量が少なかったことから、入荷量は、前年同期を32%上回った。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を17%下回った。</p>
八朔	<p>和歌山県を中心に、広島県、徳島県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、品質の低下がみられたことから、入荷量は前年同期を35%下回った。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を20%下回った。</p>
不知火	<p>愛媛県を中心に、和歌山県、佐賀県、香川県、福岡県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、品質の低下がみられたことから、入荷量は前年同期を26%下回った。</p> <p>価格は、入荷減であったものの、品質の低下がみられたことから、前年同期並みとなった。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県からの入荷。</p> <p>不作であった前年に比べ、産地での流通在庫が多い状況となっているため、全体の入荷量は、前年同期を59%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を35%下回った。</p>
イチゴ	<p>福岡県を中心に、熊本県、大分県、佐賀県、長崎県からの入荷。</p> <p>各産地とも、気温の上昇により作柄順調であったことから、入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、他品目との競合により、前年同期を9%下回った。</p>
アールス	<p>静岡県を中心に、高知県からの入荷。</p> <p>各産地とも、加温用重油の高騰から作付面積を減少させていることから、入荷量は、前年同期を16%下回った。</p> <p>価格は、需要の低迷により、前年同期を6%下回った。</p>

